TOKYO SHINAGAWA HOSPITAL

東京品川病院 総合案内

信頼される 地域に根ざした
中核病院を目指して

カマチグループ
医療法人社団 東京巨樹の会
東京品川病院

常に実践

断らない医療

地域に根ざす

理事長
蒲池 眞澄 かまち ますみ

カマチグループ創設者・現CEO。
昭和15年福岡県八女郡黒木町生まれ。
蒲池家は江戸中期から続く医師家系でCEOが9代目。
昭和49年、下関市で救急指定の下関カマチ病院を開院し独立。現在までに九州・山口地方、関東地方を中心に、病院、診療所、助産院、学校など35施設を運営している。

総院長
瓜生田 曜造 うりうだ ようぞう

防衛医科大学校医学科　1982年卒
医師免許
外科認定医
医学博士
スウェーデン王国医学博士
産業医

病院長
蒲池 健一 かまち けんいち

久留米大学医学部　2006年卒
外科専門医
救急科専門医
消化器がん外科治療認定医
消化器外科専門医

2018年4月1日、東芝病院より経営移譲され、地域のための病院として東京品川病院は生まれ変わりました。

CT装置を備えたER（救急救命室）を新設、HCU（ハイケアユニット）も12床新設し、24時間365日・土日や夜間でも緊急手術や、より重症な患者さまに対応できる体制を実現しました。外科系の診療体制強化、血管造影装置の一新、内視鏡室もリニューアルし、より良い設備で検査増加に繋がっています。

年間の救急搬入数も5,000件を超え、手術件数も2,500件を超える実績を上げています。2019年10月より産科も再開し、約半年間で100名を超える多くの元気な命が産まれております。

また、予防医学として健診センターの機能を充実させ、人間ドックでの早期発見・早期治療に注力。皆さまの健康と生活を守りたいと考えております。

これまで以上に地域の医療機関、介護福祉機関、行政機関との連携の充実を図り、地域に根差した病院としてより多くの方々に安心してご利用いただけるよう、邁進していく所存でございます。

常に新しく生まれ変わり続ける東京品川病院に、今後尚一層のご指導ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

病院長　**蒲池 健一**

■ 病院理念

「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」

■ 基本方針

高度医療　学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

総合医療　患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ，在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

地域医療　地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

救急科

24時間・365日、断らない医療を。

救急医療は思いもよらず病気やケガなどを発症した患者さまを、適切に救助・治療する、まさに医療の原点といえます。
当院では、2018年4月から救急科を新設し、現在月平均約400台の救急搬送を受け入れています。多発外傷をはじめ、脳卒中・心臓疾患・呼吸器疾患・消化器疾患・腎臓内分泌疾患・整形外科領域など年間5,000台を超える救急搬送が予測されます。
「お困りの患者さまを1人でも多く助けたい」という思いで、私達は24時間・365日、断らない医療」を掲げ、これからも地域医療に貢献していきたいと考えています。
生活習慣の変化などの影響により、心疾患や脳血管疾患といった血管病は、我が国の死因の約23.2%（2018年厚生労働省人口動態統計）を占めています。例えば血栓回収療法が1時間早まれば、後遺症の発症率を10〜20%改善出来るという報告もあります。
当院では、脳神経外科・循環器内科をはじめ各科共同・24時間体制で、脳卒中や心筋梗塞などの急性期の血管疾患に対する治療体制を構築しています。

外科

標準外科治療を安全に提供いたします。

当科では、胃がん・大腸がん・膵がん・肝がんなどの消化器がん、虫垂炎や胆のう炎といった急性腹症、腸閉塞、鼠径ヘルニアや内痔核などの肛門疾患に対する外科治療を行っております。
さまざまなガイドラインに則った標準的な手術を、迅速に地域の皆様に提供することを心がけております。手術には最新の機器を用いた腹腔鏡下手術を積極的に適応し、患者さまの痛み・負担を減らして、術後の体力回復をスピードアップします。腹腔鏡下手術は日本内視鏡外科技術認定医がより安全に適切に行っております。また術前術後には当院のリハビリテーション科と連携し、手術による体力低下を予防・回復しております。
がん治療としては、手術に加えて、各種検査・薬物療法（抗がん剤治療）・ストマケアや緩和医療まで広範囲にカバーします。消化器内科などの診療科や化学療法室などの各部署と連携し、入院から外来までシームレスかつ迅速な医療を提供しております。

泌尿器科

“わかりやすく丁寧に”をモットーに診察いたします。

当科は、全年齢層を対象とした、尿に関連した臓器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）と男性生殖器（陰茎・前立腺・精巣）の病気を主として扱う診療科です。
主な対象疾患は、泌尿器科腫瘍、尿路感染症、尿失禁、前立腺肥大、尿道狭窄、神経因膀胱、過活動膀胱、EDなどです。
わかりやすく丁寧な説明を行う、患者さまの立場で考えるをモットーに診察を進めてまいります。

血管外科

現状で確立した医療を提供いたします。

血管外科は、腹部から四肢に至る動脈、静脈、リンパ管に関わる疾患を扱う診療科です。手術前提の治療ではなく、内科的治療を含め最善の治療を提案いたします。血管内治療、外科治療を組み合わせた「ハイブリッド治療」を行うことが出来、カテーテル治療や外科治療のみに固執しない、より安全で低侵襲な医療を提供いたします。またリンパ浮腫に対する手術療法を含めた複合的治療が可能です。放射線血管内治療医、循環器内科医と共同で治療を行い、ほぼすべての血管外科疾患の治療が可能です。

乳腺甲状腺外科

チームでこころに寄り添った診療を心がけています。

乳腺や甲状腺、副甲状腺疾患の検査・診断・治療を、関連各科、多職種と密接に連携してチームで診療を行っています。
乳がんの診断は、放射線科や病理の医師・技師と連携し総合的、専門的に判断します。
また、薬剤部・看護チームと連携して安心して抗がん剤治療を受けられる体制をとっており、リンパ浮腫やリハビリにも積極的に取り組んでいます。
病気の進行度や腫瘍の性質だけでなく、本人の価値観や生き方を尊重し、チームで「私らしく」に寄り添った診療を心がけています。

呼吸器外科

「明るく、親切、優しく、丁寧に」診療いたします。

呼吸器外科とは、肺・気管・気管支・縦隔（じゅうかく）・胸壁・横隔膜など心臓や食道以外の、呼吸器に関わる疾患の手術や治療を担う科です。呼吸器内科、腫瘍内科と連携の上、術前化学療法や、術後補助化学療法、再発・遠隔転移の際の化学療法も施行しております。術後のQOLも重視した低侵襲手術を目指し、完全鏡視下胸腔鏡手術に加え、周術期も早期離床、リハビリが円滑に行われるように心掛けております。地域医療に貢献できるように日々尽力しております。

脊髄脊椎外科

患者さまの苦痛を軽減し、生活の質を向上させます。

脊髄脊椎外科とは、脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニア、脊椎の骨折などによる手足のしびれや痛み、腰痛などを専門的に治療する特殊な診療科です。
診察はきめ細やかな神経診察を基本とし、各種画像診断や神経ブロックなどを組み合わせて行います。
私たちはフィルムカンファレンスを医師・看護師・メディカルクラーク全員で行っています。治療にあたる医師が個々の考えのもと個別に治療を行うのではなく、治療にあたる医師・看護師そしてリハビリテーション士などの医療チームがひとりひとりの患者さまに対して同一の治療方針を共有するために行っています。患者さまを中心にした医療こそが真の医療だと思っています。
脊髄脊椎外科は、脳から末梢神経に至る全ての神経診断学と、脊椎の運動生理学に精通したスペシャリストのチームが治療を行うべきです。整形外科や脳神経外科にとらわれず、特化すべき分野と考えます。

脳神経外科

24時間体制で早期診断・早期治療を行います。

1分1秒でも早く

脳卒中の新しい治療指針では、1分でも早く、詰まった血管を再開通させて、脳に酸素を供給すべく、tPA療法や血栓回収療法を行うことが重要であると述べられています。当院では病院到着から40分以内に、このような治療が開始できるような体制を整えています。
また脳卒中だけでなく頭部外傷や脳腫瘍、脳動脈瘤、顔面けいれん、水頭症など幅広く治療を行っています。

低侵襲であること

機能障害や痛みに対して、安全に、確実に、迅速に対応いたします。痛くない治療、早く良くなる治療、合併症や後遺症の少ない治療を第一に心がけています。
また、1日も早く『元通りの身体』『元の生活』『元の仕事』に復帰するために、さまざまなお手伝いを行っています。脳の健康に関すること、セカンドオピニオンや転院先の相談など、お気軽にご相談ください。

整形外科

救急治療にも速やかに対応しており、他科との連携もスムーズです。

肩こり、筋肉痛やねんざ、骨折、靭帯損傷、さらには高齢の患者さまの関節痛の診断、治療をいたします。救急治療にも速やかに対応しており、多発外傷に伴う骨折など他科との連携もスムーズです。
外傷や年齢による変形に対する骨切り術や人工関節置換手術も行っております。

※人工膝関節手術

形成外科

生活の質“クオリティ オブ ライフ”の向上に貢献します。

当科は、身体に生じた変形や傷をきれいに治すことを主な目的とし、顔や手足など身体表面の外傷、顔面骨骨折、やけど、あざ、傷あと、先天異常、皮膚腫瘍、がん、難治性潰瘍などの疾患に対して、他科と連携しつつ外来診療、手術を行っております。
機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることにより、精神的にも健康になって頂き、皆様の生活の質の向上に貢献できればと思います。患者さまに寄り添った治療を心がけておりますので、該当する疾患をお持ちの方は当科を受診してください。

耳鼻咽喉科

正しい治療、詳しい検査で質の高い医療を提供します。

当科は耳鼻咽喉科一般診療の他、めまい、難聴、顔面神経麻痺、中耳疾患を特に専門としています。顔面神経麻痺は通常の治療の他リハビリに力を入れており、重症例には手術をお薦めすることもあります。突発性難聴に対しては高気圧酸素治療を行える数少ない施設です。多職種と協力して治療・検査にあたり、画像データを駆使した見える治療と患者さまと協力して治癒力を引き出す医療を目指します。

皮膚科

小児から高齢者まで丁寧な診療を提供します。

当科は、皮膚疾患全般、乳児湿疹、接触皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹、痒疹などの湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、乾癬、掌蹠角化症、単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫（水いぼ）、尋常性疣贅（いぼ）、白癬（みずむし）、尋常性ざ瘡（にきび）、伝染性膿痂疹（とびひ）、蜂窩織炎、擦過創、脱毛症、白斑、鶏眼（うおのめ）、胼胝（たこ）などが、対象疾患です。
丁寧な診察、治療を心がけています。

眼科

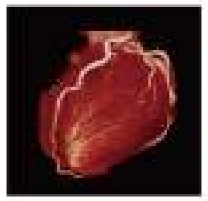
安心・安全が第一をモットーに対応いたします。

外界の情報の約８割は視覚から得ており、眼は重要な部位です。
当科では、緑内障疾患、白内障や緑内障等の前眼部疾患、糖尿病網膜症などの眼底疾患、視神経障害等を含めた幅広い眼科一般の診療を行っております。
前眼部手術、白内障手術などが必要な患者さまには、安全第一の手術を目指すという目標のもと、慎重かつ丁寧な手術を心がけています。

循環器内科

外来・病棟・検査・治療、全てに対応いたします。

診療する疾患は、心筋梗塞や急性心不全、不整脈などの心疾患や大動脈解離、肺動脈塞栓症などの血管疾患で緊急性が高いことが多く、また様々な併存疾患を持つ高齢者が多いためスピードと慎重さが同時に要求されます。
このため最新機器を用い熟練したスタッフで診療にあたっています。一人ひとりの患者さまに最善の診療を提供することによって、患者さまご本人とそのご家族の人生がより良きものとなるよう努めています。
また、地域医療機関との連携にも積極的に取り組み、専門外来への患者紹介や特殊検査の実施依頼を受け入れています。



呼吸器内科

患者さまとのコミュニケーションを大事に、最新・最善の診療を心がけています。

気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）をはじめ、肺癌、間質性肺炎、肺炎、睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器疾患全般を幅広く診療しています。通常の薬物治療でコントロールが難しい気管支喘息の患者さまを多数診療しており、分子標的薬や気管支鏡による温熱療法を積極的に導入しています。COPDでは地域の医療機関や他科と連携し、早期診断、治療、合併症管理を行っています。
また、呼吸器リハビリテーションを積極的に導入しております。肺癌などの悪性腫瘍では、超音波内視鏡などの最新の機器を用いて診断を行っており、呼吸器外科、放射線科と連携し、速やかな診断、治療を行っています。
睡眠時無呼吸症候群では、ポリソムノグラフィーを用いて診断し、口腔外科、耳鼻咽喉科と連携し、治療を行っています。

腎臓内科 透析センター

多岐にわたる診療科と連携し、最良の透析療法、血液浄化療法を提供します。

透析患者さまは脳血管・心血管の合併症が出現することがあり、初期治療を早期に行う必要が生じる場合もあります。さらに多岐にわたる合併症を有している方が多いのも特徴の一つです。
当院では脳神経外科・循環器内科・血管外科とも連携をはかり、救命を要する場合でも対応可能な病院です。また高齢化に伴い「車椅子・寝たきりの透析患者」が増加しています。「車椅子・寝たきりの透析患者」にならないよう、透析中にセラピストによるリハビリ介入を行い、皆様のQOLの向上を目指してまいります。

消化器内科 内視鏡

管腔臓器疾患のみならず肝臓、膵臓、胆道疾患に対応します。

内視鏡機器の発達、内視鏡受検者数の増加により早期に消化管がん（食道がん、胃がん、大腸がん）が診断される機会が増えました。
また、早期消化管がんの低侵襲治療が可能になっています。従来の内視鏡治療では切除できなかった広範な病変や瘢痕形成病変に対しての治療も可能になりました。内視鏡治療は手術による治療と比較して、少ない侵襲で、大きな治療効果が得られることが特徴です。
当院では、下部消化管出血、大腸憩室出血に対して積極的に内視鏡検査、治療を行っています。オピニオンリーダーの1施設として、十分な情報、治療を提供できると自負しています。

総合内科

来院される方のニーズにできる限り応えていきます。

1.病院を訪れる患者さまに近い
どの専門科に受診したらいいか悩んだときに訪れる外来になります。患者さまが"身近に"感じられるよう診療していきます。
2.患者さまと一緒に考える
医師は症状等から検査を行い、診断を考えていきます。症状改善に向かうように"一緒に"考えていきたいと思っています。
3.専門科との橋渡しになる
専門的な治療が必要と判断した場合には専門科への橋渡しを行います。
当科では、外来治療可能な患者さまについては当科で治療を継続し、より高度な専門治療が必要と判断した場合には該当する専門科に治療を依頼します。

腫瘍内科

『QOL』を大切に、最適な治療を提案いたします。

近年、抗がん剤治療の進歩の結果、腫瘍内科医の必要性が高まってきました。
当科では、がん診療専門の内科として、臓器横断的に抗がん剤治療で科学的根拠に基づき、患者さまに最適な治療方針を提案いたします。病状、治療による利益、不利益を説明の上で、治療を進めます。治療に関しては、QOLを保つことも大切な要素であるため、支持療法、緩和療法を十分に行い、また、少しでも入院せずに治療が出来るよう、可能な限り、外来での抗がん剤治療を推進しています。

内分泌糖尿病内科

各科と連携して診療に当たります。

当科では、糖尿病の他、内分泌疾患、甲状腺疾患(バセドウ病、橋本病等)、脂質異常症、高尿酸血症等を診療します。糖尿病は全身疾患であり、合併症としては、三大合併症(神経障害、網膜症、腎症)の他、脳梗塞、狭心症・心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症などが知られています。当科では、各科と連携して診療に当たります。

リハビリテーション科

質の高いリハビリテーションを365日休みなく提供します。

当科は、様々な要因により障害を持った方が、その人のなしうる最大の「身体的・精神的・社会的・職業的・経済的」な能力を有するまでに回復させることを目標に掲げ、医師・看護師・ケアワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士等のすべてのスタッフが連携し、365日休みなく提供できる体制によって患者さまの早期回復を図ります。
当院には、"手には技術、頭には知識、患者様には愛を"の基本理念に基づきチーム医療を実施するため日々、専門知識、専門技術の向上に努めています。
グループ全体での教育パスや院内研修等、教育体制も充実しており、当科においてもリハビリテーションを進めていく上でのリスク管理の徹底を図っています。

回復期リハビリテーション病棟

100名以上のリハビリスタッフが365日、マンツーマンで患者さまの
早期退院・社会復帰を応援します。

脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受け、病状が安定する1～2ヶ月後の状態を「回復期」といいます。この時期に集中的なリハビリを行うことで、低下した能力を再び獲得するための入院施設が回復期リハビリテーション病棟です。

産科

女性の身体とこころにやさしい診療を行っています。

総合病院ならではの充実した医療環境の中で、産科クリニックのようなきめ細やかな産前産後ケアを揃え、皆様に安心して出産していただけるお手伝いをいたします。

- 全室リニューアル
- 母子同室
- 無痛分娩（硬膜外麻酔分娩）
- 立ち合い出産ＯＫ
- 当院での里帰り出産もＯＫ
- LDR※導入
- 産後サポート外来あり

※LDRとは、陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)を略した言葉で、陣痛が始まってからお産をして、回復するまでの時間を同じ部屋で過ごしていただけます。

婦人科

女性のトータルヘルスケアを担うことを目標として。

婦人科腫瘍から、子宮内膜症や月経異常、卵巣機能異常、更年期障害などの女性ホルモンの異常による疾患、さらに子宮脱などのQOLを損なう疾患まで、幅広く対応できるよう治療を行っています。
また、スポーツドクターとして、女性アスリートのヘルスケアにも対応しています。

小児科

新生児から中学生までの内科的な疾患に対応します。

一般外来では様々な症状に対して、各種検査を取り入れ、また他科と連携し診断・治療にあたっていきます。アレルギー疾患（食物、湿疹、喘鳴、鼻炎）も同様にアレルギー検査や呼気検査を併用して詳細な説明を心がけています。子育てのライフステージにおける親子それぞれの心の悩みにも寄り添い援助します。

循環器、神経、アレルギーの専門外来は予約制でじっくり時間をかけて診察します。
当院は地域のお産病院として、赤ちゃんからの継続的な育児ケアに丁寧に向き合っています。乳幼児健診にも力をいれており、診察、栄養指導、育児相談と充実した内容となっています。

麻酔科

臨機応変に対応すべく万全を期す。

当科は、手術中に麻酔を実施するだけに留まらず、術前から術後まで患者さまの全身状態を管理することで、安全・安心な手術環境を提供し、命を守ります。
また、痛みを持つ患者さまにも痛みを少しでも軽減できるように、様々な方法を薬剤を用いた鎮痛方法を提供してまいります。

歯科口腔外科

歯科治療を通して地域医療に貢献します。

当科では、親知らずの抜歯から腫瘍や嚢胞の摘出などの局所麻酔手術、疾患によっては全身麻酔手術も行っています。
外傷、高齢者や全身疾患を有する患者さまにも対応しています。また、安心して治療を受けていただけるよう、入院対応も可能です。
また、睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装具（マウスピース）作成、顎関節症の治療なども行っています。

放射線科

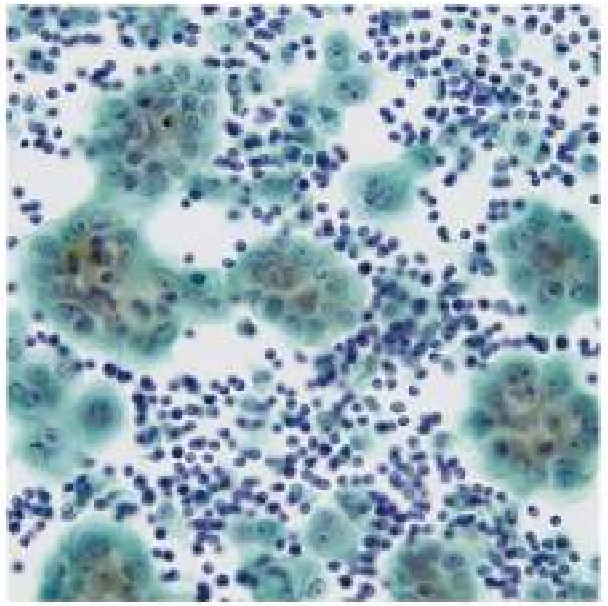
迅速な検査と正確な診断で応えます。

当科では、単純X線、造影検査、CT、MRI、核医学検査などを最新の機器で施行し、迅速かつ正確な診断を提供するよう心がけています。また、正確な診断を得るために最短かつ必要十分、そして患者さまに優しい検査のプランニングを行うよう努めています。所属する診療放射線技師はもちろんのこと、看護師、クラークも画像診断に関わる専門性を備えており、上記の共通の目的のためにスタッフが互いに協力し研鑽する体制をとっています。

病理診断科

治療法の選択・予後予測などに重要な情報を提供しています。

当科は、病理専門医によって、年間2,500件以上の病理組織診断および術中迅速診断を行っており、免疫組織化学的な評価を積極的にとり入れ、臨床診療科における治療法の選択や予後予測などに重要な情報を提供しています。また細胞検査士とともに、年間2,500件以上の細胞診業務も行っています。
そして、「病理」のもうひとつの大切な仕事に病理解剖があります。当院では解剖した全症例について臨床病理カンファレンス（CPC）を開催しています。



病院の理念に則り、心が伝わる看護を提供します。

東京品川病院は、2018年4月より地域のための病院としてスタートしました。24時間365日断らない医療を実践すること、患者さまへ安全で安心できる看護、地域での在宅を見据えた看護を提供するため、日々努力しております。

看護部理念である「心が伝わる看護」には、責任が伴います。知識・技術そして心が伴ってこそ信頼される看護職となります。そのために、当院での人財育成は「チームサポート制」を導入しています。「みんながあなたのサポーター」の下、2年目以上全員が新人教育に関わります。看護師としてスキルアップし、大きく成長するために私たちと一緒に働きませんか。

看護部長　市村 小百合

看護部方針

◎私たちは、個々の患者様に適した根拠に基づく看護を実践します。
◎私たちは、看護の行為とその結果に責任を持ちます。
◎私たちは、共に働く人々を尊重し、チーム医療をリードします。
◎私たちは、看護専門職として主体的に学び、倫理観と専門性を追求します。
◎私たちは、組織の一人として地域に貢献します。

看護部理念

私たちは病院の理念に則り、心が伝わる看護を提供します。

教育理念

愛情を持って教え、ともに育つ。

教育体制

教育目的	心が伝わる看護を実践できる人財を育成する。
教育目標	倫理的感性を磨き、確かな知識・技術を実践できる看護職を育てる。 チーム医療の一員として互いに成長しあえる自律した看護職を育てる。
教育プログラム	◎新人看護職研修　◎専門研修　◎eラーニング
キャリア開発	病院の理念に基づき、地域住民のニーズに対応した 質の高い看護を提供するために、人財育成と能力開発を目的に、 「看護部キャリア開発プログラム」を導入しています。

看護部の取り組み

各部署における具体的な看護実践例をご紹介します。

チームサポート制	「みんながあなたのサポーター」のコンセプトのもと、 2年目以上のスタッフ全員が新人看護職員の教育に関わります。
人財育成担当主任	「新人看護職員のアセスメント能力の向上」を目的に 「看護過程スキルサポーター」として、部署横断的に 新人看護職員の成長を支援しています。

認定看護師

日本看護協会の認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。当院の臨床現場で活躍している認定看護師を紹介します。

認定看護師徽章

安心して治療を受けることができるような看護を。

救急看護認定看護師　光永 留美

病院の理念である「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」を基に救急医療に携わっています。救急外来を受診される患者さまの症状や背景はさまざまです。そのような中で患者さまやご家族の方が安心して治療を受けることができるように救急看護を行っていきたいと日々考えています。

多職種と協働しながら日々活動。

感染管理認定看護師　朴 桂栄

感染管理認定看護師の役割は、患者さまが安楽に入院生活が送れるように、職員が安全に働くことができるように感染から守ることです。しかし、私一人の力だけでは守ることは出来ません。医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師などのICT(感染対策チーム)を中心に、多職種と協働しながら日々活動しています。

がんと診断されたときからサポートします。

緩和ケア認定看護師　平尾 牧子

がんと診断されたときから、今後の治療や生活の心配事や不安等のお話を伺い、患者さま、ご家族と一緒に考えていきます。また、外来や病棟での医師の診療にも同席し、ご相談に対応します。がん相談外来も行っておりますので、少しのことでもお気軽にご利用ください。多職種と連携し、患者さま、ご家族が少しでも笑顔で安心して過ごせるようサポートします。

スタッフと共に日々努力。

認知症看護認定看護師　渡邉 祥子

認知症の患者さまは、環境の変化にとても敏感です。認知症の患者さま、一人ひとりと向き合い、話を聞き、安心して治療を受けることが出来るようケアを行います。また患者さまやご家族の思いを尊重した看護が出来るようスタッフと共に日々努力していきます。

安全な食事摂取の手助けを行います。

摂食・嚥下障害認定看護師　横川 敬子

摂食・嚥下とは、食べ物を目で見て、ニオイを嗅いで、口に取り込む、咀嚼を行う、そして飲み込むまでの一連の過程を言います。食事は、生命活動のエネルギー源だけではなく、生活に潤いや幸せをもたらすものです。患者さまの「口から食べたい!」という気持ちに応えられるよう、多職種と連携を図りながら、安全な食事摂取の手助けを行って参ります。

放射線科

迅速かつ正確な診断・治療を心がけています。

X線だけでなく、超音波や磁気を利用した診断装置による診断は、現代の医療において必要不可欠な技術のひとつとなっております。放射線科とは、これらの画像機器を集中的に管理し、各科医師と緊密な連携を保ち、患者さまにできるだけ侵襲を加えず迅速で正確な診断を得ることによって最良の治療へと結びつける役割を担っている部門です。

臨床検査科

より早く！より正確に！タイムリーな臨床支援。

当科では、検体検査・生理機能検査・病理検査の3部門に分かれ、それぞれの分野に専門の技師を配置しています。検査室での検査に加え、耳鼻科外来や総合健診センターでの検査にも携わり各部門のニーズに合わせた検査を行っています。救急医療に対応するため、検体検査や心電図検査・心臓超音波検査を24時間行える体制も整えています。また、遺伝子検査も開始し、新しい分野にも挑戦しています。

臨床工学科

医療機器のスペシャリストとして医療に貢献。

当科では、ME機器保守管理業務をはじめ、血液浄化療法、心臓カテーテル検査・治療、ペースメーカー業務、人工呼吸器業務、高気圧酸素治療、手術室業務など様々な臨床現場に携わっています。特に、高気圧酸素治療では、全国的にも数少ない第二種装置で治療を行っております。また、脳神経外科では脳血管造影検査にも携わっています。特に救命救急医療では、緊急性の高い検査や治療に備え、24時間呼び出し体制を整えています。

リハビリテーション科

早期回復と生活動作の改善に取り組んでいます。

リハビリテーション専門医が診察を行い、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、医療ソーシャルワーカー（医療相談部）などの各専門職と一緒に診療にあたります。各専門職は指示に基づき状態を評価し訓練などを行っていきます。患者さまやご家族を含め、医師、看護師、各療法士の意思統一とゴール設定を行っています。スタッフ一同、患者さまがもとの社会生活を取り戻されるよう全力を尽くしております。

薬剤科

チーム医療におけるお薬に関するサポートを行っています。

当科は院内の「くすり」と名のつくもの全てに関与しています。
調剤、品質・在庫管理、製剤、点滴の無菌調剤、投与設計、くすりの説明など幅広く業務を行っています。
また医薬品に関する情報を発信し、お薬に関するサポートをしています。
患者さまが安心して治療に専念できるようお手伝いします。

栄養科

美味しくて楽しいお食事の提供を心掛けています。

美味しくて毎日楽しみになる、そんなお食事の提供を管理栄養士一同目指しています。
治療のサポートになる、栄養バランスのよいお食事。安全・安心なお食事。そしてさらに入院生活に彩りを添えるような楽しいお食事。それが私たち東京品川病院のモットーです。
アレルギーへの対応や、患者さま個々に合わせた食器の選別も行っています。どのようなことでもご相談ください。

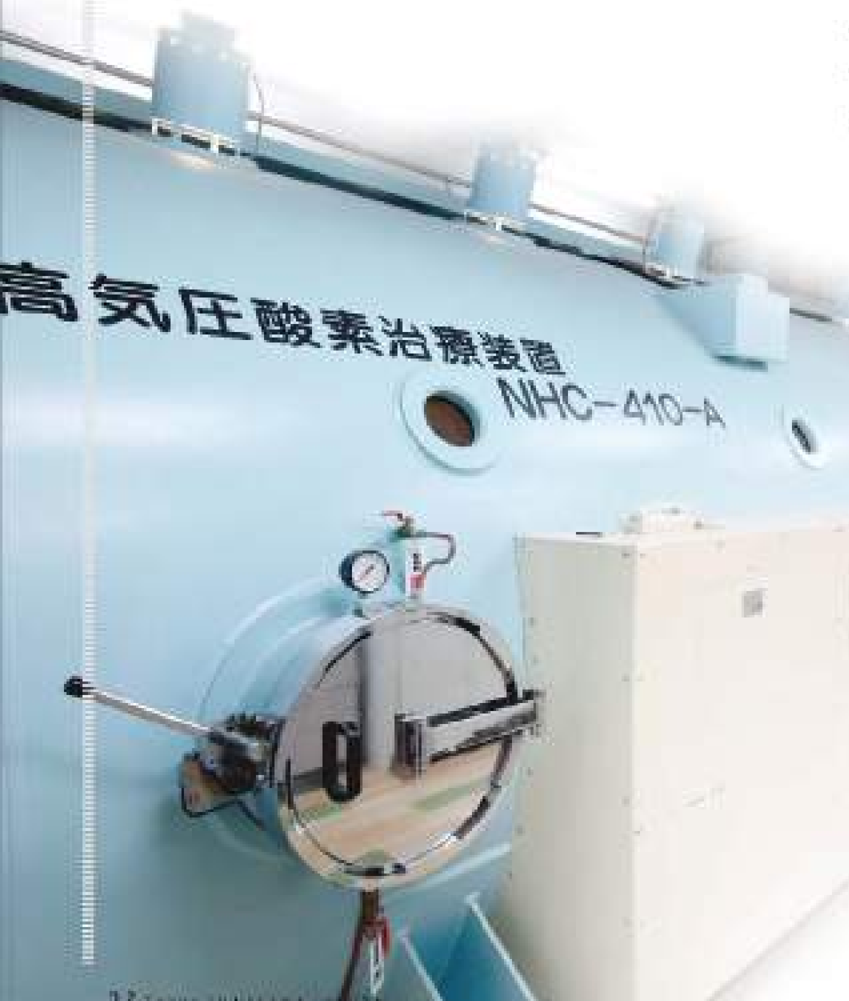
高度医療機器

HBO

高気圧酸素治療

高気圧酸素治療とは、気圧を高めた部屋でマスクを使用して、100%濃度の酸素を送り込むことで身体の回復力を高める治療法です。
2005年12月より高気圧酸素治療を開始し、2018年度1,131件・2019年度1,146件の治療・実績があります。
特にスポーツ外傷（捻挫・打撲・筋断裂・靭帯損傷）、腸閉塞、難治性潰瘍、突発性難聴、放射線又は抗がん剤治療と併用される悪性腫瘍などを中心に治療ができます。
減圧症を含め、その他の疾患にも対応しています。

ケガ等で損傷した部分は、回復するために大量の酸素を必要とします。呼吸で得られる酸素量の10〜20倍もの酸素を体内に取り込むことにより細胞が活性化し、損傷した組織の回復を促進します。

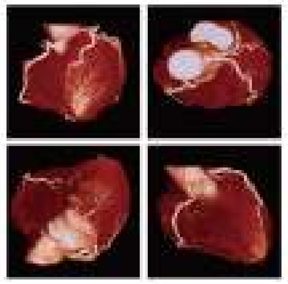


特　長

- 多人数用（第2種）最大人数8名まで
- 全国でも50施設程度の希少な装置
- 一般的な2.0気圧の一人用カプセル型に比べて2.8気圧まで上げての治療が可能
- 多量の酸素を損傷した組織に送り込むことが可能なため、炎症の改善とともに障害の修復を促進することが可能。

心臓CT

心臓カテーテル検査でしか分からなかった冠動脈の走行、狭窄を評価することができます。心臓カテーテル検査と比べより低侵襲で、体の負担が少ない検査です。



Angio（血管撮影装置）

最新の装置を導入し、より低侵襲なインターベンションによるカテーテル治療を行います。高画質な画像、放射線被ばくの低減を実現することで、患者さまにとってより高度な血管内治療を支援致します。

MRI（3テスラ）

MRIは強い磁場と電波を使用します。そのため、MRIは放射線による被ばくがありません。3テスラは、短時間で撮影し高画質な画像を提供することはもちろん、従来装置より筒が大きく設計されていることから、患者さまに苦痛のない検査環境を提供致します。

CT（320列CT）

320列CTは、脳や心臓などの臓器全体を1回転で瞬時に撮影することができるため、造影剤使用量を最小限に抑え、放射線被ばくの大幅な低減を実現し、患者さまの負担を軽減致します。また、1回の息止めで全身撮影が可能なことから、検査も短時間で終了致します。

感染症に対する備え

当院では感染症に対して対応できるよう体制を整えております。
世界基準の体外式膜型人工肺機器（ECMO）も導入、管理法等吟味を重ね、多くの救命症例を積み重ねています。
より長期の安全管理を可能にするような体制づくりを心がけています。

総合健診センター

健康という、受診者の方々の大切な宝を守るために、
質の高い健康サービスをご提供いたします。

病気の予防（一次予防）と早期発見（二次予防）を目指し、「正確でスピーディーな健診と安心のフォローアップシステム」をモットーに、生活習慣病予防・がん早期発見のお手伝いをしています。
年一回の人間ドックを受診して、全身のチェックをしましょう。
また、人間ドック以外にも、脳単独検診、肺がん検診、乳腺検診など皆様のニーズにお応えできる様々なコースをご用意しております。

特　長

- ■ 公益社団法人日本人間ドック学会の定める「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受けております。
- ■ 人間ドックをご受診の方には、保健師による運動・栄養健康指導を行います。
- ■ 再・精密検査判定の方を対象に、病院などを受診されたかどうかを手紙や電話で確認いたします。
また、受診されていない方には、再検査を勧めています。
- ■ 病院併設の健診センターであるため、万が一の場合でも安心です。
必要に応じて外来診療・入院治療も受けられます。

人間ドック・各種健康診断お問い合わせ

◎ 予約制です。お電話にてお申込みください。
TEL 03-3761-4260（月～土　8:30～16:30）

治験開発研究センター

様々な疾患の完治を目指し、Innovativeな発想・Long termな視野・
より良い治療選択・薬育・社会貢献を念頭に日々仕事をしていきます。

治験とは

新しく開発されたよりよい薬を広く患者さまに使ってもらうために、そのお薬の効き目（有効性）や副作用（安全性）を確認し厚生労働省にお薬として認めてもらうために行う試験をいいます。この「治験」には、これまでも多くの患者さまにご協力いただき、その恩恵を受けて私たちはたくさんのお薬を使うことができています。
「治験」は新しい薬を世の中に提供するための大切なプロセスの一つです。

「治験」は新しい薬を世の中に提供するための大切なプロセスの一つです。

治験コーディネーター

治験コーディネーターは、治験に参加される患者さまの権利や安全を守るお手伝いをしています。患者さまと共に治験を実施しながら、治験に関する不安を取り除いたり、体調に変わりがないかなど、注意深く見守っていきます。また、患者さまにご協力いただいた貴重なデータを収集し、未来の患者さまのために役立てるお手伝いもしています。

治験に参加するには

当院ホームページや院内ポスターにて実施中の治験をお知らせしています。
ご興味のある方は、当院の治験開発・研究センターにお問い合わせください。
もし、あなたにとって治験が治療の選択肢の一つになると思われるときには、担当の医師から情報を提供いたします。

◎ お問い合わせ
医療法人社団 東京巨樹の会
東京品川病院 治験開発・研究センター
TEL 03-3764-0511

患者支援センター（地域連携室）

より良い医療環境を実現できるよう日々活動しています。

患者支援センターでは、地域の医療機関・福祉施設と連携の強化、また、退院や転院など患者さまやご家族が抱える問題に真摯に向き合い、より良い医療連携の確立を目指しています。多様化した環境の中で患者さまを中心に考え、より良い環境で円滑に安心して受診して頂けるよう、各医療機関及び医師間のパイプ役として活動しています。

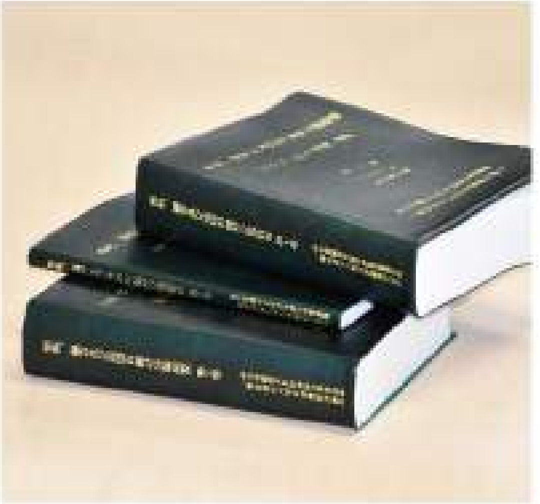
主な業務

- ■ 紹介患者さまの受診・受療の円滑な対応
- ■ 紹介患者さまの紹介元への迅速な報告
- ■ 当院の患者さまの他院への紹介
- ■ 周辺の医療機関へ当院の各種案内
- ■ 周辺医療機関からの問い合せ窓口
- ■ 開放型病院登録医の先生方の窓口 など

診療情報管理室

良質で安全な医療情報の運用管理を徹底しています。

診療情報管理室は、診療記録及び診療情報を適切に収集・管理するとともに集約された情報を分析・活用し支援する業務を行っています。
業務を行うにあたり、医学知識を始めとした、幅広い知識修得のため、研修・勉強会・学会に参加し、チーム医療を行っていく上で大切な役割を果たすべく努力を重ねています。



AREA
地域活動
ACTIVITY

地域に根ざした病院として皆様の幅広いニーズに応えるべく「敷居の低い病院」を目指します。
地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、さくらまつりの開催や町会活動への参加を行っております。

さくらまつり

こども神輿

東京消防庁より感謝状授与

品川区長より感謝状授与

健康教室

地域の方へ向けて健康教室を開催いたしております。
当院の医師・医療技術部による講演を行い、病気の予防から早期発見、早期治療といった健康思想の啓蒙活動を行っております。

院内健康教室

出前健康教室

明日の日本を支えるカマチグループ

カマチグループは、全国規模の医療プロ集団です。
健診、周産期から急性期、リハビリまで総合的にサポート。
チーム医療で地域社会へ貢献してまいります。

1 社会医療法人財団 池友会
福岡和白病院
福岡県福岡市東区和白丘2-2-75
TEL.092-608-0001

2 社会医療法人財団 池友会
新小文字病院
福岡県北九州市門司区大里新町2-5
TEL.093-391-1001

3 社会医療法人財団 池友会
福岡新水巻病院
福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1-2-1
TEL.093-203-2220

4 社会医療法人財団 池友会
新行橋病院
福岡県行橋市道場寺1411
TEL.0930-24-8899

5 一般社団法人 巨樹の会
新武雄病院
佐賀県武雄市武雄町富岡12628番地
TEL.0954-23-3111

6 社会医療法人財団 池友会
香椎丘リハビリテーション病院
福岡県福岡市東区下原2-24-36
TEL.092-662-3200

7 一般社団法人 巨樹の会
下関リハビリテーション病院
山口県下関市今浦町9-6
TEL.083-232-5811

8 社会医療法人財団 池友会
福岡和白PET画像診断クリニック
福岡県福岡市東区和白丘2-2-76
TEL.092-608-1166

9 社会医療法人財団 池友会
福岡和白総合健診クリニック
福岡県福岡市東区和白丘2-11-17
TEL.092-608-0138

10 一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院
千葉県八千代市米本1808
TEL.047-488-1555

11 一般社団法人 巨樹の会
千葉みなとリハビリテーション病院
千葉県千葉市中央区中央港1-17-18
TEL.043-245-1555

12 一般社団法人 巨樹の会
松戸リハビリテーション病院
千葉県松戸市和名ヶ谷1009-1
TEL.047-703-1555

13 一般社団法人 巨樹の会
原宿リハビリテーション病院
東京都渋谷区神宮前6-26-1
TEL.03-3486-8333

14 一般社団法人 巨樹の会
蒲田リハビリテーション病院
東京都大田区大森西4-14-5
TEL.03-5767-7100

15 一般社団法人 巨樹の会
小金井リハビリテーション病院
東京都小金井市前原町1-3-2
TEL.042-316-3561

16 一般社団法人 巨樹の会
赤羽リハビリテーション病院
東京都北区赤羽西6-37-12
TEL.03-5993-5777

17 一般社団法人 巨樹の会
五反田リハビリテーション病院
東京都品川区西五反田8-8-20
TEL.03-3779-8820

18 一般社団法人 巨樹の会
江東リハビリテーション病院
東京都江東区北砂2-15-15
TEL.03-6880-1555

19 医療法人社団 東京巨樹の会
東京品川病院
東京都品川区東大井6-3-22
TEL.03-3764-0511

22 医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
埼玉県久喜市上早見418-1
TEL.0480-26-0033

23 医療法人社団 東京巨樹の会
みどり野リハビリテーション病院
神奈川県大和市中央林間2-6-17
TEL.046-271-1221

24 一般社団法人 巨樹の会
新上三川病院
栃木県河内郡上三川町上三川2360
TEL.0285-56-7111

20 一般社団法人 巨樹の会
所沢明生病院
埼玉県所沢市山口5095
TEL.04-2928-9110

21 一般社団法人 巨樹の会
明生リハビリテーション病院
埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2
TEL.04-2929-2220

25 一般社団法人 巨樹の会
宇都宮リハビリテーション病院
栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2
TEL.028-662-6789

26 一般社団法人 巨樹の会
狭山中央病院
埼玉県狭山市富士見2-19-35
TEL.04-2959-7111

東京品川病院沿革

平成30年(2018年)	旧東芝病院より医療法人社団 緑野会へ法人移譲
	東京品川病院開設 296床(急性期 236床、回復期 60床)
	外観・館内改修工事
	HCU 12床新設
	ER 第1期改修工事
	2号館3・4階 回復期病棟新設(急性期 146床、回復期 150床)
平成31年(2019年)(令和元年)	医療法人社団 東京巨樹の会へ法人名改称
	新院長 蒲池健一 就任
	新専門医制度 内科専門医 基幹型施設認定
	血管造影室新設
	透析センター新設(20床)
	1号館7階バースセンター新設(急性期 206床、回復期 90床)
	最新マルチスライスCT 導入
	救急車導入(緊急車指定)運用開始
令和2年(2020年)	感染症(コロナ)外来・専用病棟開設
	PCR 検査機導入
	ER 第2期改修工事

カマチグループ沿革

昭和49年(1974年)	当時不毛であった救急医療に取り組むため
	下関カマチ医院 開院(急性期 19床、後に79床)
昭和53年(1978年)	特定医療法人財団 池友会を創設
昭和56年(1981年)	小文字病院 開院(現・新小文字病院 急性期 214床)
昭和58年(1983年)	下関第一病院と改称
昭和62年(1987年)	和白病院 開院
	(現・福岡和白病院 急性期、回復期 369床)
平成10年(1998年)	新行橋病院 開院(現・急性期 1回復期 246床)
	和白病院を福岡和白病院に改称
平成12年(2000年)	新行橋病院 新築移転
平成13年(2001年)	下関第一病院を下関リハビリテーション病院と
	改称(現・回復期 165床)
平成15年(2003年)	福岡新水巻病院 開院(現・急性期 227床)
	香椎丘リハビリテーション病院 開院(現・回復期 120床)
平成16年(2004年)	福岡和白PET画像診断クリニック 開院
平成17年(2005年)	福岡和白病院 新築移転
	福岡和白総合健診クリニック 開院
平成18年(2006年)	八千代リハビリテーション病院 開院(現・回復期 180床)
平成20年(2008年)	社団法人 巨樹の会を創設
	小文字病院を新築移転し、新小文字病院と改称
平成21年(2009年)	所沢明生病院 開院(急性期 50床)
	明生リハビリテーション病院 開院(回復期111床)
	新上三川病院 開院(急性期、回復期 209床)
平成22年(2010年)	社会医療法人財団 池友会へ名称変更
	新武雄病院 開院(現・急性期、回復期 195床)
	医療法人社団 緑野会
	みどり野リハビリテーション病院 開院(現・回復期 136床)
平成23年(2011年)	蒲田リハビリテーション病院 開院(現・回復期 180床)
	宇都宮リハビリテーション病院 開院(回復期 96床)
	新武雄病院 新築移転
平成24年(2012年)	小金井リハビリテーション病院 開院(現・回復期 220床)
平成25年(2013年)	一般社団法人 巨樹の会へ名称変更
	赤羽リハビリテーション病院 開院(現・回復期 240床)
平成26年(2014年)	松戸リハビリテーション病院 開院(回復期 180床)
	千葉みなとリハビリテーション病院 開院(現・回復期 180床)
平成27年(2015年)	原宿リハビリテーション病院 開院(現・回復期 332床)
	五反田リハビリテーション病院 開院(現・回復期 240床)
平成28年(2016年)	新久喜総合病院 開院(急性期、回復期・ICU含む 300床)
平成29年(2017年)	江東リハビリテーション病院 開院(回復期300床)
	医療法人社団 埼玉巨樹の会を創設
平成30年(2018年)	東京品川病院開院 東芝病院より運営移管
令和元年(2019年)	医療法人社団 東京巨樹の会へ名称変更
	狭山中央病院開院(急性期、療養111床)

電車

◎JR京浜東北線大井町駅中央口（中央東方面 きゅりあん側）より徒歩7分
◎東急大井町線大井町駅より徒歩9分
◎りんかい線大井町駅より徒歩12分
◎京浜急行立会川駅より徒歩10分

自動車

国道15号線（第一京浜）より青物横丁交差点を池上通り方向に入り、
約700m先の陸橋手前で左側道に入って下さい。
※駐車場は台数に限りがありますのでご了承下さい。

カマチグループ
医療法人社団 東京巨樹の会
東京品川病院

〒140-8522 東京都品川区東大井6-3-22
TEL.03-3764-0511
http://tokyo-shinagawa.jp